



令和7年度第3回コミュニティ・スクール(学校運営協議会)開催

2月18日、今年度3回目の学校運営協議会を開催いたしました。

今回は、学校評価や3年生の進路指導の状況、インクルーシブな学校運営モデル事業など学校の様々な取組についての情報共有をはじめ、令和8年度のグランドデザインについての説明を行い、承認をいただきました。

また、協議会の後半には熟議も行われ今後の教育活動の可能性について広く意見が出されました。

進路指導に関する報告

○進路担当より、3月に卒業を迎える41回生の進路状況について説明しました。

- ・卒業生は35名で、一般就労は12名、福祉的就労では、就労移行支援、就労継続支援A型、B型等を利用する予定となっています。
- ・生活の場は、自宅から進路先に通う生徒が多いですが、グループホーム及び宿泊型自立訓練施設等を利用する生徒も8名います。

インクルーシブな学校運営事業について

○R8年度は「インクル事業3年目」(最終年度)

更別農業高校と一緒に2年間積み重ねてきた特色ある「交流及び共同学習」の成果と課題をまとめる一年となります。

R9年度以降の継続に向けて歩みを進めます。

- 1 オンライン共同学習
- 2 道の駅植栽活動
- 3 食品衛生管理者の講習受講
- 4 生徒会交流
- 5 職員研修(共に学ぶ会)



*上記活動は両校の特色ある学びの一端を担う取組であり、ぜひ北海道、全国に発信していきたいと考えています。



「スノーアートヴィレッジなかさつない2026」に向けて2校で迷路等の制作を行い各メディアでも取り上げてもらいました。

学校評価について

- 教頭より、今年度の学校評価（職員、保護者、生徒）の結果について、説明を行いました。（学校評価はホームページに掲載されております）
- ・教職員の評価結果より、生徒指導や指導の工夫については前年度より肯定的な評価が増えている一方で、服務規律の保持や ICT 活用、地域連携といった面で評価が下がるという二極化が見られている。
- ・次年度に向けて職員の服務規律の向上、ICT の計画的な運用と活用、地域連携では特に情報発信のやりづらさについての記述が多く見られたため、X やホームページでの安全な発信の工夫を検討する必要がある。
- ・保護者の評価より「学校祭に感動した」「安心して通わせられている」といった感謝の言葉が多く寄せられている。一方で ICT 活用の事務手続きの正確性、迅速な情報共有といった点に改善の必要があることが見受けられた。

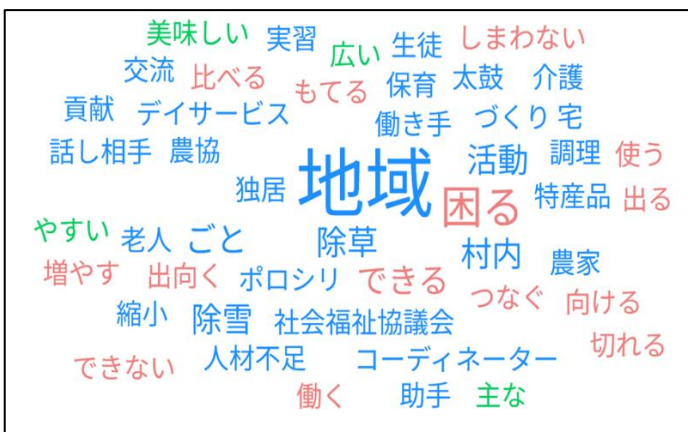
R8 年度グランドデザインについて

- 前回の熟議で多くの御意見をいただきました。その結果を「notebook 1m（ノートブック・エルエム）」を使って作成した動画を皆さんで共有しました。
- ・グランドデザインの重点目標「挑戦・寛容・協働を育む教育活動の実践」「持続可能なインクルーシブ教育の創造」「時代に即した校内諸規定の見直し」「新学習指導要領を見据えた教育課程の見直し」について触れ、本校は伝統を大切にしている面もあるが、内容が古くなっているものもあるので時代に合わせたものに変えていく必要があることを確認しました。
- 提案どおり、委員の皆様にご承認いただきました。

熟議について

- 今回はテーマを「中札内村の力を生かした学び」～地域から頼られる、地域に貢献できる学校へ～と設定し、委員の皆様と中札内村に住んでいる教員、初任者の教員、村内での活動に参加している教員がグループに分かれ熟議を行いました。

【熟議で出された意見】



*ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp>)



熟議を通じて「地域で働ける人材、校外に出て行きやすい環境づくり、困りごとアンケート」など多くの御意見をいただきました。子どもを中心にし、大人は何ができるのか、何を伝えたいのかを考え次年度の学校経営に生かしていきます。

